

領 収 証

No 032853

けいの常夫 様

領収金額 ￥62,100-

上記の通り領収致しました

令和元年 7月 22日



やまもと印刷株式会社

〒327-0003 栃木県佐野市大橋町1105

TEL (0283) 22-6428(代)

FAX (0283) 24-7247

議会より印刷代 417

領 収 証

No 033149

けいの常夫 様

領収金額 ￥65,450-

上記の通り領収致しました

令和 2 年 1 月 24 日



やまもと印刷株式会社

〒327-0003 栃木県佐野市大橋町1105

TEL (0283) 22-6428(代)

FAX (0283) 24-7247

議会より印刷代 417

けいの常夫

議会だより

vol.12
2019 Summer
夏号



令和元年第2回佐野市議会定例会は、6月7日～21日の日程で開催され、市国際クリケッタ場条例の改定など19議案を原案通り可決。一般質問は、計17人が行いました。

一般質問概要

令和元年 第2回定例会

一般質問では、「こどもの国について」「公用車について」の2点について質問しました。



① こどもの国について

(来場者が増え、10年後、20年後へ更なる発展へと繋がって欲しいとの思いを込めて質問しました)



Q こどもの国は今から19年前に開館し、来年の春には20周年を迎えるが、こどもの国開館20周年記念の概要について伺います

A 令和2年3月27日に開館20周年を迎えることになります。その記念事業として、今年度は3月上旬完成を目指して複合遊具等の整備を行い、年度末には平成12年度に20年後の自分宛てた手紙を書いて下さった当時の児童に、20年後の私への返信はがきの送付を予定しております。



Q こどもの国開館20周年記念複合遊具等整備事業の予算に対しまして詳しく伺います。

A 開館20周年に向けて屋外複合遊具設備費として、1,750万円、設備に係る設計委託料として200万円、室内遊具で不具合が生じているバイオビューワーの修繕費として33万円、交通パノラマの改修費として17万円の合計2,000万円でございます。



Q 総合こどもセンター内のプレイアトリウム（体育館）では、事故やケガに対しどのような注意・配慮をしているのか伺います。

A 児童厚生員が巡回を行い、事故やケガの防止に努めています。また、日曜日に幼児から小学生を対象としたエアトランポリンや、ほかの道具遊びの指導対応を実施しておりますが、2名の児童厚生員で対応しておりましたものを3名に増員し、安全の確保を図っております。



Q プレイアトリウム（体育館）全体にクッションマットのようなものをひき、子供たちが転んでもケガしにくいように改善して欲しいと思いますが、どのようにお考えなのか伺います。

A 児童厚生員事業のわんぱくタイムにおいてスポーツの時間を設け縄跳びや球技などを行っております。また、未就学児向けの乗り物、遊具、カッピー君の遊び場として使用しておりますので、それらの活動に支障を来すことになるため、全体にクッションマットをひき詰めることは考えておりません。なお、滑り台などの遊具がある部分につきましては、床にクッション材などを設置することを検討してまいりたいと考えております。



Q 来場者を増やすために、どのような取り組みをしているか伺います。

A 今年度に設置いたします複合遊具やこどもの国のイベント、各種事業について、ホームページ、ブログ、広報紙を通じた情報発信、周知を行うとともに、保育園などへの案内チラシを配布するなどして、子供や保護者の方々に目をとめてもらい、より多くの方にご来館いただくよう努めてまいります。



② 公用車について

(稼働率向上と電気自動車の普及による環境改善や経費節減の思いを込めて質問しました。)



Q 公用車の総台数と年間の稼働率を伺います。

A 本年4月1日現在での公用車の総台数は、財産活用課の集中管理者が56台、各課専用車が340台、合わせて396台あり、平成30年度における全公用車の平均稼働率は75.4%でございます。



Q 公用車の保険料、燃料費、修繕費や点検代といった年間経費を伺います。

A 平成29年度決算ベースで申し上げますと、保険料が約1,094万円、燃料費が約4,188万円、修理や点検代が約4,016万円、その他といたしまして自動車重量税、リース料、消耗品などが約576万円、合計いたしまして約9,874万円でございます。



公用車の電気自動車の占める割合を伺います。



A 公用車の中で電気自動車は集中管理車の2台であり、公用車全体の占める割合は0.5%でございます。



環境や経費削減の取り組みとして、電気自動車普及の向上をして欲しいと考えますがどのようにお考えなのか伺います。



A 電気自動車は、二酸化炭素などの有害物質を排出せず、環境に優しく、またランニングコストが縮減されるものと認識しております。しかしながら、車両価格が同クラスのガソリン車と比較し高額であること、充電設備が必要になることなど幾つかの課題もありますので、導入については慎重に検討してまいります。

異常気象の一因とも言われています地球温暖化の問題、環境への負担を考えた場合、公用車を電気自動車に買い替え、充電設備などの環境整備を行うことで、市民の環境への意識向上や環境に優しい生活への切り替えなどに一定の効果が見込まれると考えますがどのようにお考えなのか伺います。



A 環境についても一定の配慮のもと、現在もよりエコなものを導入しておりますが、より環境に優しい電気自動車についてはなかなか進まない状況であります。今後につきましては、地球環境への負担、負荷の軽減という観点につきましても十分考慮し、環境行政との調和も考えて進めていきたいと考えております。

「佐野市立小中学校適正規模・適正配置基本計画（後期計画）（案）」について

佐野市では、未来を担う子供たちに望ましい教育環境の実現を目指し、小中一貫教育を推進しています。

これは、佐野市第2次総合計画の基本方針に沿い、コンパクトシティ構想、市有施設適正配置計画など、佐野市の行政経営の方向に沿った計画であり、佐野市内の小中学校を将来的に施設一体型義務教育学校とし、より一層の小中一貫教育を推進するものであります。

計画期間は「佐野市市有施設適正配置計画」の終期と合わせて、現時点では2023年度～2047年度までの25年計画であります。社会情勢・地域の実情・財政状況等の変化により適宜見直すものとなっております。



議会報告会について (田沼会場・葛生会場・佐野会場にて開催)

第4回佐野市議会報告が、7月8日・9日・11日の3日間開催され、市民の皆様と市議会議員との各種意見交換会を行いました。9日に行われた葛生会場では、①移住定住の促進について、②葛生地区の公共交通について、③葛生地区におけるコンパクトシティ構想について議会報告が行われ、次いで、参加された市民とのフリートークによる意見交換会が行われ、多くのご意見をいただき大変意義のある報告会となりました。



活動 Topics

遠藤食品工場視察（4月25日）



佐野市内にあります遠藤食品（株）の漬物製造を市議会で見学をさせていただきました。

吾妻地区ふれあい大運動会（5月25日）



学校と地域がふれあい・つながる、とても素晴らしい運動会でした。

あそ野学園義務教育学校工事現場見学会（6月28日）



令和2年の4月開校を目指して計画通り順調に工事が行われてきました。（市議会で見学）

こんな相談事がありました

皆様もお困りござりましら
一報ください



市道に大きな穴があり、事故の原因となるので早急に改善して欲しい。
→市役所（道路河川課）に要望して道路補修をしていただきました。



市道から県道に合流する交差点の雑草が伸び視界が悪く事故の原因となるので雑草伐採して欲しい。
→栃木県（安足土木事務所）に要望し、雑草の伐採をしていただきました。

発行人：けいの常夫
連絡先：カルソニックカンセイ労組
佐野分会内
〒327-0816 佐野市栄町8番地
TEL: 0283-21-6147
FAX: 0283-21-8040
E-mail: tsuneo.keino@marelli.com



けいの常夫 議会だより

vol.13
2020 Winter
冬号



昨年の10月に発生した台風19号により被災された方々に対し、心からお見舞いを申し上げます。
一日でも早く平常の生活ができるよう、行政と協力し支援活動を進めてまいります。

令和元年度第4回佐野市議会定例会は、12月6日～17日の日程で開催され、本年度一般会計補正予算など14議案を原案通りに可決しました。また、合併処理浄化槽整備の拡大に関する請願1件を採択。一般質問は12人が行いました。

一般質問概要

令和元年 第4回定例会（要旨）

一般質問では、「台風19号による被災後の対応について」質問しました。

① 市営住宅への一時避難受け入れの現状について



現在、一時避難されている方は何世帯、何人いるのか。また、一時避難されている方々に対してきめ細やかな相談・支援活動が必要と考えますがどのようにお考えなのか。



A 2019年11月末日現在で市営住宅へ一時避難をされている世帯数は104世帯、人数で266人です。
避難されている方々に対し、生活再建支援のお知らせ等をお届けするのに合わせ、「健康相談・栄養相談・こころの健康相談」などの案内を行うとともに、現在保健師による家庭訪問を行っております。



入居の提供期限は3ヶ月迄とし、最長6ヶ月迄延長可となっているが、特例として提供期間は決めず、被災者と個別に相談・調整していただきたいと思いますがどのようにお考えなのか。



A 国土交通省からの通知により、市営住宅の用途または目的を妨げない限度で一時的な入居の許可を行うこととされております。また、入居の条件としましては、被災者の実情に照らし、適切な入居期間をすることとされており、提供期間につきましては、一時避難されている世帯に対し、12月中に住宅再建などの見通しにつきましてアンケート調査を行い、適切な期間を把握します。



② 洪水対策について

しゅんせつ

河川内堆積土砂の浚渫が効果的と考えますがどのようにお考えなのか。



A 河川内に堆積した土砂を浚渫することは、河川断面を確保することができますので洪水防止対策として大変効果的だと考えます。



本市全ての河川の浚渫や堤防のかさ上げの必要性を総点検し、洪水に強いまちづくりを行って欲しいと考えますが、どのようにお考えか。



A 本市が管理している、今回被害を受けた普通河川につきましては、道路河川課実施のパトロールや地元町会などから情報提供をもとに点検してまいりたいと考えております。今後は、その点検結果をもとに護岸の低い箇所のかさ上げの検討や、現在も行っております河川の流れを阻害しないように維持管理としての浚渫などを実施してまいりたいと考えています。

議員全員協議会（台風19号関連） 令和元年11月8日

今後の予算対応についての協議会が行われ、台風19号被害応急対応についての説明があり、その後意見交換を行いました。

区分	主な予算編成内容	現時点の概算額
・災害廃棄物・土砂等	災害廃棄物・土砂等の処分など	約 85億円
・被災農家支援	農業再建への支援	約 6億円
・被災企業等支援	経営再建への支援	約 1億円
・災害復旧事業	市道・河川・農業用施設等の復旧	約 37億円

※金額については、国県支出金、地方債等も含めた現時点での見込額であり、今後変更することもあります。

台

風19号による被災地を視察しました



令和2年4月より、現在の田沼西中学校敷地内に
佐野市初「あそ野学園義務教育学校」
が開校となります。

佐野市では、未来を担う子供たちに望ましい教育環境の実現を目指し、小中一貫教育を推進しています。

これは、佐野市第2次総合計画の基本方針に沿い、コンパクトシティ構想、市有施設適正配置計画など、佐野市の行政経営の方向に沿った計画であり、佐野市内の小中学校を将来的に施設一体型義務教育学校とし、より一層の小中一貫教育を推進するものであります。



活動 Topics

吾妻地区敬老会



吾妻地区公民館にて敬老会が行われ、吾妻小学校児童や、地域おこし協力隊のお笑い芸人テルさん達が、招待された皆様を温かくもてなしました。

桃梨祭（佐野市立吾妻小学校）



桃梨祭（吾妻小学校学習発表会）が開催され、児童みんなが元気いっぱいの発表で感動と元気をいただきました。

佐野市成人式（佐野会場）



令和2年佐野市成人式が、佐野・田沼・葛生会場の3会場で行われ、合わせて約1,200人の方が成人を迎えるされました。

二 んな相談事がありました



道路に穴があり、また舗装状態が悪く事故の原因となるので改善して欲しい。
→市役所（道路河川課）に要望し、道路補修をしていただきました。

皆様もお困りございましたら
一報ください



・・多量の土砂・・
→市役所（農政課）に要望し
市の責任で撤去してくれること
となりました。
(撤去時期は令和2年4月迄)

台風19号の被害で河川が越水したために畑に土砂が入り込み、自力で土砂を一ヵ所にまとめた。市に撤去の相談をしているが何もしてくれないとのこと。